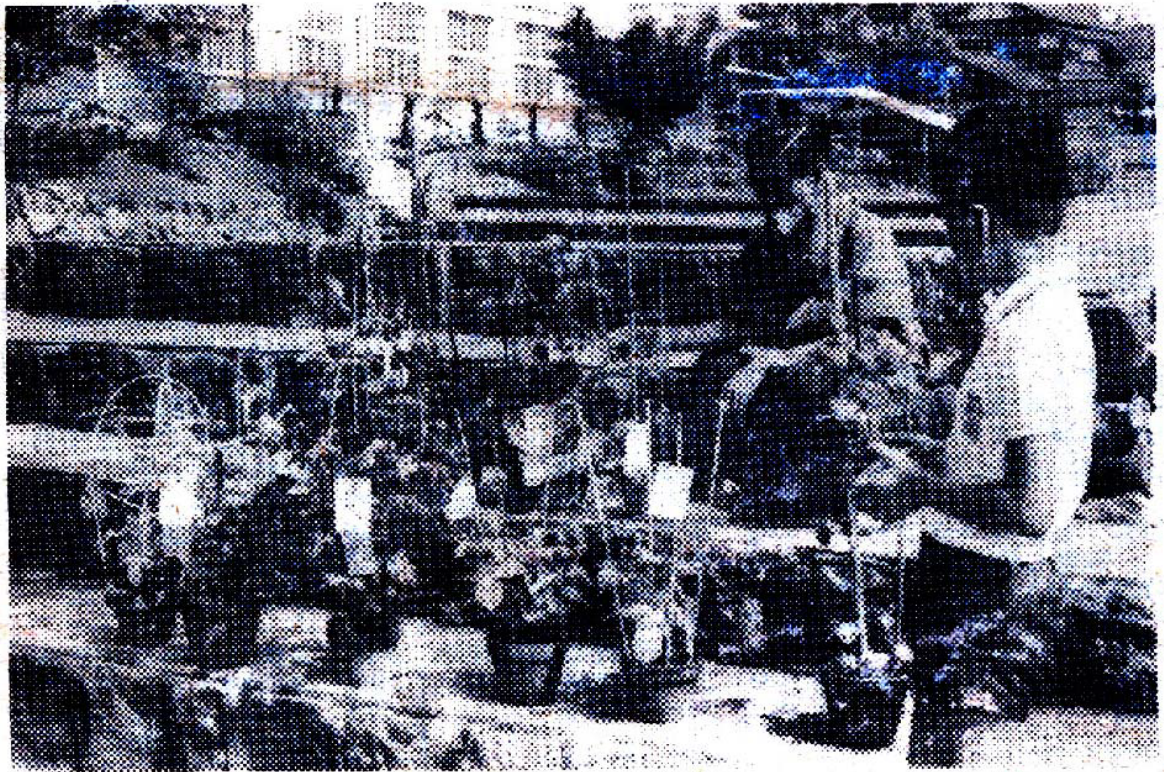




昭和44年8月2日

ことしも見事に花咲かせた

青山小で朝がおコンクール

青山小学校(片山登校長)は夏休み入り初の登校日の一日、児童の朝顔コンクールを行なった。

情操教育の一環として毎年行なっているもので、この五月下旬、全校児童にタネを配って家庭で栽培させていた。

最優秀(金賞)児童は次のとおりだが、片山校長は「子どもにものを育てる喜びを知ってもらうのが一番のねらいです」といっている。

△一年…しゅとうようじろう、大谷やすひさ、土橋ひろゆき△二年…石川こずえ、高崎文江、青木としげ、中野誠章△三年…首藤功一郎、荒金朋子△四年…加藤浩至△五年…末松立子、近藤一直△六年…石川和美、米屋佳枝

(写真は児童のつくった朝顔。坐わっているのは片山校長)

昭和44年8月2日 新聞記事

記事内容

- ・時の校長 片山登
- ・情操教育の一環として毎年、朝顔コンクール実施
- ・校長の言葉
「子どもにものを「育てる」喜びを知ってもらうのが一番のねらい」